

大阪府支援研中河内支部 指導技術研修会

「作って遊べる おもちゃ作り」
～時間をかけずにある物で作れるテクニック～

講師：東大阪市立上小阪小学校

教諭 大西 正勝先生（支援学級担任）

日時：平成24年8月20日（月）10時～

場所：東大阪市立弥刀東中学校 理科室



もうすぐ夏休みが終わる8月20日。子どもたちと早く会いたい、いっしょに作って楽しみたいと思うおもちゃ作りの講習会でした。

弥刀小学校と弥刀東小学校を間違えて、少し遅れて到着すると、すでにぶんぶんコマの制作が始まっていました。ポテトチップの円筒形の箱を適当に切って輪っかを2つ作り、ホッチキスで十文字に留めてたこ糸を通すだけで出来上がり。「作るよりも回す方が難しい」と声が出ていました。はずみをつけてクルクル回し、ぐいと紐を引けばブンブンと音をたてて回るはずですが、すぐ途中で止まってしまいます。でも何回かやるうちに手ごたえを感じました。



あらかじめ古CDの中心にビー玉をボンドで留めて乾かしておきました。どんなふうに回るか楽しみを後に置いておきます。

次は、一番みんなで楽しんだ封筒ロケット「めっちゃとぶでえ〜!!!」ラップの芯にビニール袋をセロテープで付けて、反対側に封筒を差し込んで、空気の入ったビニール袋をポンと押すと、封筒ロケットがぴゅうと飛びました。ここで封筒の先にゼムクリップを付けたり、翼を付けたりするなど真っ直ぐに飛ぶ工夫ができます。飛ぶものは童心にかえて夢中になりました。教室中に封筒ロケットが飛びかいました。さらに、マヨネーズやケチャップの容器にストローを差し込んで、割り箸袋をロケットにもしました。これもよく飛びました。当たっても痛くありません。



そして、お待ちかねのCDコマです。これがよく回る!! 表面の模様をいろいろ工夫すると面白い。うずまきやベンハムのコマのような模様の紙をたくさんいただきました。自分でオリジナルの模様を描いている人もいました。子どもたちもきっと工夫して自分だけのコマを作るでしょう。作品展や学校行事で他の人にも広めたいです。

不思議だったのはCDコマに縞模様をつけて回すとタマネギの輪切りのような同心円が現れること。回ることによっていろいろな模様がでるのも新発見でした。

他にも、ペットボトルキャップに穴をあけてつまようじを差し込んだだけでコマになります。中心に穴をあけるのが難しかったです。円形のチーズの空き箱の底にガチャボンのケースの半分をくっつけてもコマになる。コマ作りは奥が深いです。

楽しいものつくりの時間を過ごし、新学期を迎える元気をもらいました。ドラえもんポケットのように楽しいものが次々に出てきました。大西先生ありがとうございました。

